

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(1)	地域福祉	該当ページ	P45
基本方針	すべての住民がともに支え合い、誰もが安心して生活できる地域社会を実現するため、ノーマライゼーションの理念に基づき、地域福祉施策を展開していきます。地域福祉を支える基盤となる地域コミュニティの形成・強化や、福祉活動を行うボランティアや各種団体への支援に努めます。			
施策の体系	人材や団体への育成・支援			

○実施計画事業

事業No.	町民生委員・児童委員活動費補助金			事業課	福祉課	
予算	事業名	町民生委員・児童委員活動費補助金				
	科目	款	3民生費	項	1社会福祉費	目
個別計画/条例					目標年次等	H30年度
事業期間	H29~H30					
事業目標	最近における生活環境の複雑化、核家族化の進行、社会連帯意識の希薄化の現象が顕著になっている中、民生委員（児）の活動や支援は一層重要性を増している。民生委員・（児）の活動が円滑に行われるため広く地域や行政の理解と協力が必要である					
事業対象	民生委員・児童委員					
目標値	民生委員・児童委員の定数確保に努める	H29年度		33人		
		H30年度		33人		
現状値	現在30人					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	3,089 千円	事業費	3,089 千円		
	民生委員・児童委員活動費として		民生委員・児童委員活動費として			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	乳幼児健診や乳幼児医療費助成の継続的な取り組み			

○実施計画事業

事業No.	1	母子保健事業	事業課	健康保険課		
予算	事業名	母子保健事業				
	科目	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目
個別計画/条例		健康よなばる21		目標年次等	H30年度	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	安心・安全な妊娠、出産、育児への支援 妊産婦・乳幼児保健対策の充実					
事業対象	町民全体（母子）					
目標値	受診率：各健診の受診率を年1%以上の向上を目指す。	H29年度	各健診の1%UP			
		H30年度	各健診の1%UP			
現状値	平成28年度受診率 ※（ ）内は27年度 乳児一般健診92.1%（93.4%） 1歳6か月児健診92.5%（91.9%） 3歳児健診86.5%（91.2%）					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	40,017 千円	事業費	40,017 千円		
	親子健康手帳交付 妊婦健診 妊婦学級 妊婦・ハイリクス妊婦の支援 7か月及び1歳児健康相談 乳児一般健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科検診、3歳児健診 新生児訪問指導、2か月児訪問指導、 こんにちは赤ちゃん訪問事業（4か月児訪問） 未熟児養育医療 各健診後経過観察児の支援 母子保健推進員の育成		親子健康手帳交付 妊婦健診 妊婦学級 妊婦・ハイリクス妊婦の支援 7か月及び1歳児健康相談 乳児一般健診、1歳6か月児健診、2歳児歯科検診、3歳児健診 新生児訪問指導、2か月児訪問指導、 こんにちは赤ちゃん訪問事業（4か月児訪問） 未熟児養育医療 各健診後経過観察児の支援 母子保健推進員の育成			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	安心して子どもを産み育てられる政策の実施			

○実施計画事業

事業No.	1	ファミリーサポートセンター事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	児童福祉事務運営費				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画 (H27~		目標年次等	H30		
事業期間	平成29年度~平成30年度					
事業目標	労働者が仕事と育児又は介護を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、もって労働者福祉の増進及び児童福祉の向上を図ることを目的し、育児や介護の援助を受けたい人が会員となって地域で相互援助活動を行います。					
事業対象	利用会員（お願い会員）：0歳~概ね18歳 サポート会員（まかせて会員）：子育てを応援したい心身ともに健康な方					
目標値	子育て支援実施計画の最終年度を平成31年度とし、目標会員数を300名とする。（内、サポート会員80名）		H29年度	会員数 295名		
			H30年度	会員数 300名		
現状値	核家族化の進展や就労環境の変化、近隣関係の希薄化による、出産や育児の不安を解消し、多様化する児童福祉へのニーズにきめ細やかに対応しているよう、保護者等の病気や急用などで子どもの預かりができるファミリーサポートセンター（西原・中城と広域で）が平成24年度設置され、登録及び利用者も徐々に増えている。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 11,360 千円		事業費 11,360 千円			
	沖縄県労働社福祉基金協会へ3町村共同で事業実施委託（委託料は各町村、基本額+人口割で負担とする）。月~土の9時~6時までの開所		沖縄県労働社福祉基金協会へ3町村共同で事業実施委託（委託料は各町村、基本額+人口割で負担とする）。月~土の9時~6時までの開所			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。 誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	子育て支援センターの機能の拡充、孤立せず育児ができる環境づくり			

○実施計画事業

事業No.	2	地域子育て支援拠点事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	地域子育て支援拠点事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画 (H27~			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度~平成30年度					
事業目標	乳幼児をもつ保護者が相互に交流を行う場所を提供し、情報交換や子育てについての相談、情報の提供を行うことで地域子育て支援機能の充実を図る。 ※平成29年度からは、「親子通園事業」と統合する。					
事業対象	就学前までの親子					
目標値	利用者目標を0~5歳人口の25%とする。	H29年度	利用児童目標415名			
		H30年度	利用児童目標415名			
現状値	●利用状況(延べ数)					
		ひだまり	すまいる	東浜出張	おひさま	
	H27	134	246	1234	17	
	H28	4905	7208	1202		
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 16,783 千円		事業費 16,783 千円			
	●町立浜田保育園内(ひだまり)と海風児童館2階(すまいる)で実施、また、すまいるにおいては週2回東浜集会所で出張にて支援を行う。 ●すまいるにて、一時預かり事業の実施。 ●親子通園事業を子育て支援拠点事業と位置づける。		●町立浜田保育園内(ひだまり)と海風児童館2階(すまいる)で実施、また、すまいるにおいては週2回東浜集会所で出張にて支援を行う。 ●すまいるにて、一時預かり事業の実施。 ●親子通園事業を子育て支援拠点事業と位置づける。			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり
施策の方向	(2)	子どもの福祉
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。	
施策の体系	個に応じた学校教育及び関係間との連携強化	

○実施計画事業

事業No.	3	児童館運営事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	児童館運営事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画 (H27~		目標年次等	H30		
事業期間	平成29年度~平成30年度					
事業目標	18歳未満のすべての子どもを対象に、遊び及び生活の援助と地域における子育て支援を行い、子どもを心身共にすこやかに育成することを目的とする。					
事業対象	18歳未満のすべての児童					
目標値	就学児童(6~14歳)の10%の利用を目指すと同時に、地域活動事業の充実を図る。	H29年度	10%(200名)			
		H30年度	10%(200名)			
現状値	<あかぎ児童館> 平成26年度、利用児童数 13,472名(登録: 48名) 平成27年度、利用児童数 11,898名(登録: 80名) 平成28年度、利用児童数 10,906名(登録: 67名) <海風児童館> 平成26年度、利用児童数 27,626名(登録: 110名) 平成27年度、利用児童数 29,216名(登録: 87名) 平成28年度、利用児童数 20,577名(登録: 89名)					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 14,013 千円		事業費 14,109 千円			
	2カ所の児童館へ指導員を2名(海風は3名)を配置し、児童が安心して遊べる場の提供とともに、児童虐待など児童問題の早期発見の場としての機能の充実を図る。		2カ所の児童館へ指導員を2名(海風は3名)を配置し、児童が安心して遊べる場の提供とともに、児童虐待など児童問題の早期発見の場としての機能の充実を図る。			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	個に応じた学校教育及び関係間との連携強化			

○実施計画事業

事業No.	4	児童福祉事務運営費	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	放課後児童対策事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画(H27~			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度~平成30年度					
事業目標	保護者が就労などにより昼間家庭にいない小学校低学年児童に対し、授業の終了後に施設にて適切な遊びや生活の場を提供することを目的とする。平成27年度、子ども子育て支援新制度においては施設基準が条例化され、質の向上が図られている。					
事業対象	小学校児童					
目標値	児童数に応じた学童クラブの整備	H29年度		7箇所		
		H30年度		8箇所		
現状値	H26年度5か所の学童へ補助を行っている。平成27年度は子育て支援法に基づき、施設基準を条例化し質の向上を目指す。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 69,000 千円		事業費 77,000 千円			
	1カ所が施設基準で基準以上に児童を受け入れていたため、1施設を新たに認可。平成28年から7箇所の学童クラブに対して支援。		学童クラブ入所待機のあった、東小学校区に、1施設新たに認可。8か所の学童クラブに対して支援。			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。 誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	「与那原町こどもあんしんネットワーク」の充実			

○実施計画事業

事業No.	5	児童虐待・養護相談等事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	要保護児童対策協議会				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画 (H27~		目標年次等	H30		
事業期間	平成29年度~平成30年度					
事業目標	福祉・保健・教育・医療等の機関が連携し、虐待等に対し適切な支援を行うとともに、子どもが健やかに成長することを目指す。					
事業対象	町児童・生徒					
目標値	福祉・保健・教育・医療等の機関が連携し、虐待等に対し適切な支援を行うとともに、子どもが健やかに成長することを目指す。	H29年度	虐待0			
		H30年度	虐待0			
現状値	親または保護者によって子どもに加えられた不行為で、健やかな成長・発達を損なう行為を未然に防ぐとともに、関係機関と連携をとる。 ＜要保護児童相談件数＞ 平成26年度：55件（うち虐待相談24件） 平成27年度：45件（うち虐待相談21件） 平成28年度：65件（うち虐待相談22件）					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	2,377 千円	事業費	2,377 千円		
	要保護児童対策協議会の運営。相談業務及び町五者会議による問題把握と解決方法の選択		要保護児童対策協議会の運営。相談業務及び町五者会議による問題把握と解決方法の選択			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。 誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	乳幼児健診や乳幼児医療費醸成の継続的な取り組み			

○実施計画事業

事業No.	6	子ども医療費助成	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	子ども医療費助成				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例		与那原町子ども・子育て支援計画 (H27～		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	子どもの健やかな育成を支援することを目的に、医療費に係る費用を助成することにより受信控えをすることなく誰もが安心して医療を受ける事ができる環境を実現する。					
事業対象	0歳児～高校生世代					
目標値	●子育て世代のニーズの高い、子供にかかる医療費の無料化を目指す。 ●全対象者に対する現物給付の実現を図る。	H29年度	無料化			
		H30年度	無料化			
現状値	●助成対象 通院・入院 0～中学生 対象数3,200人 入院 高校生世代 対象数 600人 ●支給総額	H27	32,534	千円		
		H28	37,465	千円		
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 47,059 千円		事業費 56,470 千円			
	要保護児童対策協議会の運営。相談業務及び町五者会議による問題把握と解決方法の選択		要保護児童対策協議会の運営。相談業務及び町五者会議による問題把握と解決方法の選択			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育サービスの充実			

○実施計画事業

事業No.	7	法人保育園補助事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	法人保育園補助事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期)及び子ども・子育て支援計画			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	保護者が就労又は疾病などのため家庭で保育ができない乳幼児を保育することで、乳幼児の健全育成及び安心して子育てできるための施設である、認可保育園の運営に対して国や県あるいは単独で様々な補助事業を実施し安定的に園の運営が出来るよう支援します。(これまでの、運営負担金はH27施行の子育て支援法の下では「施設給付費」として支援)					
事業対象	認可保育園(7か所)					
目標値	全認可園へ、施設給付費(運営費)負担金のほかに、安定的に保育園が運営できるよう、さまざまな補助事業を増やしていく。	H29年度	7か所			
		H30年度	7か所			
現状値	1) 特別保育事業補助(6か所) 2) 特別支援保育実施助成事業(3か所)					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 19,800 千円		事業費 19,800 千円			
	施設給付費(運営費)以外の補助事業。 1) 特別保育事業費(延長) 2) 保育体制強化事業 3) 保育士特別配置支援事業 4) 特別支援保育実施助成		施設給付費(運営費)以外の補助事業。 1) 特別保育事業費(延長) 2) 保育体制強化事業 3) 保育士特別配置支援事業 4) 特別支援保育実施助成			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所(園)の柔軟な受入体制づくり			

○実施計画事業

事業No.	8	認可外保育園助成事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	認可外保育園助成事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 子ども・子育て支援計画		目標年次等	H30		
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	認可外保育園へ入所している児童の処遇及び福祉の向上を図ることを目的に認可外保育施設へ援護費を支給する。					
事業対象	認可外保育園（5箇所）					
目標値	待機児童が増加する中、認可外保育所を利用する保護者が増加。助成箇所の増加を図り、認可外保育園へ入所している児童の処遇及び福祉の向上を図る。同時に、平成27年度スタート予定の子育て支援新制度を見据え、認可外保育所の認可化の促進を図る。	H29年度	5箇所			
		H30年度	5箇所			
現状値	現在5箇所の保育園へ助成中。平成27年度スタート予定の子育て支援新制度を見据えて、認可外保育所の認可化を促進を図る。					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	6,938 千円	事業費	6,938 千円		
	<ul style="list-style-type: none"> 牛乳及び主食費にかかる費用を助成 児童の健診に係る費用の助成 一人当たり月額500円の運営費助成 2か所の認可外が、小規模保育事業の認可を受けるも、認可外保育所は継続経営する。 		<ul style="list-style-type: none"> 牛乳及び主食費にかかる費用を助成 児童の健診に係る費用の助成 一人当たり月額500円の運営費助成 2か所の認可外が、小規模保育事業の認可を受けるも、認可外保育所は継続経営する。 			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所(園)の柔軟な受入体制づくり、保育サービスの充実			

○実施計画事業

事業No.	9	ほっとハート子育て応援事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	ほっとハート子育て応援事業（沖縄振興特別推進事業）				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期) 与那原町子ども・子育て支援計画 (H27~			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	待機児童の多くを占める0歳児童を受け入れる保育所においては、その安全安心な保育を確保するための対策は重要であることから、9人以上の0歳児童を保育する認可園で安心安全な保育を実施するために看護師を配置する園へその経費の一部を助成する。					
事業対象	認可保育園					
目標値	認可園全箇所（7か所）が看護師を配置し安心安全な保育を確保する。	H29年度	5か所			
		H30年度	6か所			
現状値	<ul style="list-style-type: none"> ●平成26年度は3か所（与那原保育園、東の森保育園、友愛保育園） ●平成27年度は4か所（与那原保育園、東の森保育園、友愛保育園、コスモス保育園） ●平成28年度は3か所（与那原保育園、友愛保育園、コスモス保育園） 					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	3,000 千円	事業費	3,000 千円		
	看護師を配置する認可園に対しその経費の一部を助成する。 (月5万円を上限とする)		看護師を配置する認可園に対しその経費の一部を助成する。 (月5万円を上限とする)			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所(園)の柔軟な受入体制づくり			

○実施計画事業

事業No.	10	家庭的保育事業→地域型保育給付事業		事業課	子育て支援課	
予算	事業名	地域型保育給付事業（家庭的保育事業・小規模保育事業・事業所内保育事業）				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例		与那原町次世代育成支援行動計画(後期)及び子ども・子育て支援計画		目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	与那原町子ども・子育て支援実施計画に基づき、多様な保育確保策として地域型保育事業を実施。財政支援の仕組みを共通化し、施設型給付と地域型保育給付を創設した。 ＜地域型保育事業の種類＞ 1) 家庭的保育事業 2) 小規模保育事業 3) 事業所内保育事業					
事業対象	0～2歳					
目標値	実施箇所：家庭的保育2か所、小規模保育事業2カ所	H29年度		4か所		
		H30年度		4か所		
現状値	＜実施箇所＞ 平成28年度：家庭的保育事業2か所、小規模保育事業2か所					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 106,747 千円		事業費 106,747 千円			
	与那原町子ども・子育て支援実施計画に基づき、多様な保育確保策とし少人数（定員20名以下）を対象にきめ細かな保育を実施する家庭的保育事業及び小規模保育事業を実施。 ・家庭的保育：2カ所 ・小規模保育：2カ所		与那原町子ども・子育て支援実施計画に基づき、多様な保育確保策とし少人数（定員20名以下）を対象にきめ細かな保育を実施する家庭的保育事業及び小規模保育事業を実施。 ・家庭的保育：2カ所 ・小規模保育：2カ所			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所(園)の柔軟な受入体制づくり			

○実施計画事業

事業No.	11	待機児童世帯助成事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	待機児童世帯助成事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期)及び子ども・子育て支援計画			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	保護者が就労又は疾病などのため家庭で保育ができない乳幼児を保育することで、乳幼児の健全育成及び安心して子育てできる環境を作ることを第一の目標とするが、整備の途中認可保育所への入所を希望したにもかかわらず、定員に空きがないため、やむを得ず認可外保育所を利用することで保育料に差額が生じる場合(認可園保育料との差額)5,000を上限に助成することで、経済的負担の軽減を図る。					
事業対象	待機児童世帯					
目標値	待機児童対策を実施することで、助成対象世帯の0を目指す。	H29年度	20名			
		H30年度	20名			
現状値	<助成対象児童数> H26 97名申請(非該当12名) H27 94名申請(非該当11名) H28 92名申請(非該当 9名)					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	2,100 千円	事業費	1,500 千円		
	認可保育所に空きがなく、やむを得ず認可外保育所を利用することで保育料に(認可園利用時と)差額が生じた場合、5000円を上限に助成する。		認可保育所に空きがなく、やむを得ず認可外保育所を利用することで保育料に(認可園利用時と)差額が生じた場合、5000円を上限に助成する。			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所整備の推進			

○実施計画事業

事業No.	12	法人保育園補助事業→施設型給付費	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	法人保育園補助事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期)及び子ども・子育て支援計画			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	与那原町子ども・子育て支援実施計画に基づき、従来の保育所と認定こども園・幼稚園を施設型給付事業としてを実施。財政支援の仕組みを共通化し、施設型給付と地域型保育給付が創設された。様々な確保策で待機児童解消の取り組みを図る。 <施設型給付事業の種類> 1) 保育所 2) 認定こども園 3) 幼稚園					
事業対象	0～5歳					
目標値	保育確保数(定員)：985名	H29年度	711名			
		H30年度	811名			
現状値	H28年度保育定員：711名 ●施設型保育：677名 ●地域型保育：46名 ※4月現在待機児童数：H26(70名)、H27(47名)、H28(45名)					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費 650,979 千円		事業費 748,769 千円			
	保育定員確保のため、運営費計上		保育定員確保のため、運営費計上			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(2)	子どもの福祉	該当ページ	P47
基本方針	次世代を担う子ども達は地域の宝であり、子ども達が健やかに成長することができる環境づくりは地域全体の責務です。 誰もが安心して子どもを産み育てられ、子ども達の健全な遊びや学びを支えられる地域社会づくりを進めていきます。			
施策の体系	保育所整備の推進			

○実施計画事業

事業No.	13	待機児童解消対策事業	事業課	子育て支援課		
予算	事業名	認可保育所施設設置事業				
	科目	款	3 民生費	項	2 児童福祉費	目
個別計画/条例	与那原町次世代育成支援行動計画(後期)及び子ども・子育て支援計画			目標年次等	H30	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	<p>現在、保育所(園)定員数の拡大により待機児童の解消に努めていますが、東浜地区の幼少年齢の増加や共働き世帯の増加に伴い、待機児童が増加の一途をたどっており、喫緊の課題となっている。</p> <p>そのために、認可保育園を増設し大幅な定員増を図り、待機児童解消を行う。</p>					
事業対象	0～5歳					
目標値	●保育確保数(定員)：985名 ●H31度新規定員 955名(新設による定員増数135名)			H29年度		
				H30年度		
現状値	H28年度保育定員：711名 ●施設型保育：677名 ●地域型保育：46名 ※4月現在待機児童数：H26(70名)、H27(47名)、H28(45名)					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	7,400 千円	事業費	140,600 千円		
	待機児童解消策として新規施設1園設置を計画し、募集を行う。 ※本体工事費		待機児童解消策として新規施設1園設置 ※本体工事費			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(3)	高齢者の福祉	該当ページ	P51
基本方針	高齢者が生きがいを持っていきいきと生活できるよう、地域での役割、仕事、遊び、ボランティア等の場や機会づくりを進めます。 高齢者の生活を取り巻く不安や負担を軽減するため、地域で高齢者を支える仕組みづくりや、各種制度の強化、情報提供を進めます。			
施策の体系	高齢者が地域交流できる機会づくり、高齢者が活躍できる場・機会づくり			

○実施計画事業

事業No.	老人福祉事務運営事業			事業課	福祉課	
予算	事業名	老人クラブ、ゲートボール協会補助金				
	科目	款	3民生費	項	1社会福祉費	目
個別計画/条例		与那原町高齢者保健福祉計画			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年～30年					
事業目標	高齢者が地域で生き生きと生きがいを持って安心して過ごせるように、家庭や地域社会における温かい支援ができる体制の構築と老人クラブなどの地域組織の育成支援を行う					
事業対象	おおむね65歳以上					
目標値	老人クラブは、高齢者の生きがいづくりと健康づくりのため、様々な活動を通じて社会参加を促し老後を豊かなものにすることを目標としており、地域活動の担い手でもあります。運営費の助成や育成支援に努める。年々減少している老人クラブ加入者の増加を図る			H29年度	加入率24%	
				H30年度	加入率26%	
現状値	現在クラブ加入率20%					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 2,088 千円		事業費 2,088 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> 町老人クラブ連合へ老人スポーツ大会の運営費を含め助成。 老人クラブで企画する健康づくり事業へ助成。 各単位老人クラブへの運営費助成し組織強化を図る。 町ゲートボール協会への運営補助 		<ul style="list-style-type: none"> 町老人クラブ連合へ老人スポーツ大会の運営費を含め助成。 老人クラブで企画する健康づくり事業へ助成。 各単位老人クラブへの運営費助成し組織強化を図る。 町ゲートボール協会への運営補助 			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(3)	高齢者の福祉	該当ページ	P51
基本方針	高齢者の生活を取り巻く不安や負担の軽減するため、地域で高齢者を支える仕組みづくりや、各種制度の強化、情報の提供等を努めます			
施策の体系	介護サービスの拡充と適正なサービス提供			

○実施計画事業

事業No.	老人福祉事務運営事業			事業課	福祉課	
予算	事業名	祝い金及び記念碑至急、ふれあいコール、配食サービス、緊急通報システム、外出支援サービス、日常生活用具給付事業				
	科目	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目
個別計画/条例		与那原町高齢者保健福祉計画			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年～30年					
事業目標	安否の確認をはじめ配食事業の展開により、高齢者が地域で安心して過ごせるように支援する。					
事業対象	おおむね65歳以上					
目標値	高齢者のニーズに応じたサービスを提供し、利用しやすいように工夫する。			H29年度		
				H30年度		
現状値	<平成29年度予定利用者数> 祝い金及び記念品：150名 ふれあいコール：2名 配食サービス：120名 緊急通報システム：27名 日常生活用具給付：8名					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	13,708 千円	事業費	9,621 千円		
	祝い金及び記念品支給、ふれあいコール、配食サービス、緊急通報システム、外出支援サービス、日常生活用具給付事業等、ふれあいサロン委託、高齢者保健福祉計画策定		祝い金及び記念品支給、ふれあいコール、配食サービス、緊急通報システム、外出支援サービス、日常生活用具給付事業等、ふれあいサロン委託、			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(3)	高齢者の福祉	該当ページ	P51
基本方針	高齢者の生活を取り巻く不安や負担の軽減するため、地域で高齢者を支える仕組みづくりや、各種制度の強化、情報の提供等を努めます			
施策の体系	高齢者の就労環境の整備			

○実施計画事業

事業No.	老人福祉事務運営事業			事業課	福祉課	
予算	事業名	シルバー生き生きライフサポート事業				
	科目	款	3民生費	項	1社会福祉費	目
個別計画/条例		与那原町高齢者保健福祉計画			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年～30年					
事業目標	高齢者の生き生きとした生活を支えるために、有償ボランティア制度を構築する事により高齢者の生きがいや、やりがいを見だし、また、経済的自立訓練や支援が必要な高齢者の対しては、金銭管理等を行いながらワンストップの支援制度を実施し、高齢者が安心、安定した生活が送れるようにする。					
事業対象	65歳以上					
目標値	事業の立ち上げ ボランティアを行うお任せ会員とお願いする お任せ会員のマッチング数を増やす			H29年度	230件	
				H30年度	260件	
現状値	お任せ会員23人 マッチング数200件					
年度別 事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 3,680 千円		事業費 3,680 千円			
	有償ボランティアの会員募集 登録・コーディネート 広報周知 ポスター作成 関係機関への周知		有償ボランティアの会員募集 登録・コーディネート 広報周知 ポスター作成 関係機関への周知			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(4)	障がい者(児)の福祉	該当ページ	P54
基本方針	障害を有する者が、安心して家庭や地域での生活が送れるよう、住み良い環境づくりや自立・自律を支援する対策に取り組むとともに、就労の場や健常者とのふれあいの場といった、社会参加活動等の施策を総合的に展開します。			
施策の体系	町民が障がいへの理解を深めるための交流促進			

○実施計画事業

事業No.	交流センターひざし運営事業			事業課	福祉課	
予算	事業名	交流センターひざし運営事業				
	科目	款	3 民生費	項	1 社会福祉費	目
個別計画/条例		与那原町障害者計画			目標年次等	H30年度
事業期間	平成28年度～平成30年度					
事業目標	ひざしを拠点に、障害がある方に対する理解と交流を促進する					
事業対象	全住民					
目標値	ひざし利用者を利用拡大する。又、障害のある方ない方も共に交流しあい理解し合う事を目標に施設を活用する	H29年度	10人			
		H30年度	13人			
現状値	利用者は年々少しずつではあるが伸びているが平均7名である					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	3,701 千円	事業費	3,701 千円		
	ひざし運営 調理実習 スポーツ交流 相談事業 クラブ活動		ひざし運営 調理実習 スポーツ交流 相談事業 クラブ活動			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(5)	生活困窮者の支援	該当ページ	P58
基本方針	生活困窮者が健康で文化的な最低限の生活を営めるよう、社会保障に関する各種制度の充実を図るとともに、生活保護世帯にも対応できる多面的な支援対策を実施します。			
施策の体系	各種制度の周知			

○実施計画事業

事業No.			事業課	福祉課
予算	事業名	生活困窮者自立支援制度		
	科目	款	項	目
個別計画/条例			目標年次等	H30年度
事業期間				
事業目標	生活保護に至る前の段階の自立支援の強化を図るため、生活困窮者に対し、自立相談事業の実施、住居確保給付金のその他の支援を行うための相談を県へ早急につなぐ			
事業対象	生活保護者を除く生活困窮者			
目標値		H29年度	25件	
		H30年度	25件	
現状値	27年度相談紹介 3件			
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)	
	事業費 千円		事業費 千円	

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(6)	健康づくり	該当ページ	P60
基本方針	「自らの健康は自ら守る」を基本として、健康に関する住民の意識高揚を図り、乳児期から老年期までの各時期の健康課題及び生活様式に応じた健康づくりを進めます。			
施策の体系	健康診断やがん健診等の受診促進			

○実施計画事業

事業No.	1	予防接種事業	事業課	健康保険課		
予算	事業名	母子保健事業				
	科目	款	4衛生費	項	1保健衛生費	目
個別計画/条例		—			目標年次等	H30年度
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	感染症の予防					
事業対象	町民全体					
目標値	定期予防接種（HPV以外）の各予防接種率の向上				H29年度	各接種率1%UP
					H30年度	各接種率1%UP
現状値	予防接種率（H28年度） MR：第1期95.2%、第2期89.1% 4種混合：初回第1回102.7%、第2回100.7%、第3回100.3%、追加103.9% 日本脳炎：初回第1回112.7%、第2回108.0%、追加121.6% BCG：120.8% ヒブ：初回第1回99.4%、第2回98.0%、第3回92.1%、追加77.2% 小児肺炎球菌：初回第1回99.4%、第2回98.3%、第3回91.8%、追加85.4% 水痘：第1回101.5%、第2回84.1%					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	79,553 千円	事業費	79,553 千円		
	①定期予防接種 ヒブ・小児肺炎球菌・4種混合 （ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）・BCG・MR（麻しん・風しん）・水痘・日本脳炎・HPV・インフルエンザ・高齢者肺炎球菌 ②町独自の助成事業 18歳以下、妊婦へのインフルエンザ		①定期予防接種 ヒブ・小児肺炎球菌・4種混合 （ジフテリア・百日せき・破傷風・ポリオ）・BCG・MR（麻しん・風しん）・水痘・日本脳炎・HPV・インフルエンザ・高齢者肺炎球菌 ②町独自の助成事業 18歳以下、妊婦へのインフルエンザ			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(6)	健康づくり	該当ページ	P60
基本方針	「自らの健康は自ら守る」を基本として、健康に関する住民の意識高揚を図り、乳児期から老年期までの各時期の健康課題及び生活様式に応じた健康づくりを進めます。			
施策の体系	健康診断やがん健診等の受診促進			

○実施計画事業

事業No.	2	成人保健事業	事業課	健康保険課		
予算	事業名	成人保健事業				
	科目	款	4 衛生費	項	1 保健衛生費	目
個別計画/条例		健康よなばる21			目標年次等	H31
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	各種検診の実施と早期発見に努める					
事業対象	町民全体					
目標値	胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、乳がん検診、子宮がん検診の各検診受診率向上				H29年度	受診率の向上
					H30年度	受診率の向上
現状値	がん検診受診率(H28年度) ・胃がん 9.2% ・肺がん 12.5% ・大腸がん 12.1% ・子宮がん 13.6% ・乳がん 11.2%					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	21,241 千円	事業費	21,241 千円		
	各種検診の実施 一般健診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、肝炎ウイルス検診、乳がん検診、子宮がん検診		各種検診の実施 一般健診、胃がん検診、肺がん検診、大腸がん検診、肝炎ウイルス検診、乳がん検診、子宮がん検診			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(6)	健康づくり	該当ページ	P60
基本方針	「自らの健康は自ら守る」を基本として、健康に関する住民の意識高揚を図り、乳児期から老年期までの各時期の健康課題及び生活様式に応じた健康づくりを進めます。			
施策の体系	町民が運動しやすい環境整備			

○実施計画事業

事業No.	3	健康づくり推進助成事業	事業課	健康保険課		
予算	事業名	成人保健事業				
	科目	款	4衛生費	項	1保健衛生費	目
個別計画/条例		健康よなばる21			目標年次等	H31
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	パークゴルフ場利用助成を通して町民の健康増進を図る					
事業対象	町民全体					
目標値	パークゴルフ場利用者の増加	H29年度		利用者の増加		
		H30年度		利用者の増加		
現状値	町民の利用人数：12,805人（H28年度）					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費	2,450 千円	事業費	2,450 千円		
	パークゴルフ場利用者への助成を通して、健康意識の向上及び健康増進を図る。		パークゴルフ場利用者への助成を通して、健康意識の向上及び健康増進を図る。			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(6)	健康づくり	該当ページ	P60
基本方針	「自らの健康は自ら守る」を基本として、健康に関する住民の意識高揚を図り、乳児期から老年期までの各時期の健康課題及び生活様式に応じた健康づくりを進めます。			
施策の体系	保健指導の充実と健康保持のための正しい知識普及、健康診断やがん検診等の受診促進			

○実施計画事業

事業No.	4	特定健康診査等事業費	事業課	健康保険課		
予算	事業名	特定健康診査等事業				
	科目	款	8保健事業費	項	1特定健康診査費	目
個別計画/条例	与那原町特定健康診査等実施計画（第2期）、データヘルス計画、健康よなばる21			目標年次等	H31	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上を図る					
事業対象	40～74歳の国民健康保険被保険者					
目標値	特定健康診査受診率、特定保健指導実施率の向上を図る	H29年度	受診率：46% 指導実施率：62%			
		H30年度	受診率：48% 指導実施率：63%			
現状値	平成28年度 特定健診受診率 44.2% (H27：44.7%) 特定保健指導実施率 43.0% (H27：61.6%) ※8月21日時点速報値。確報値では受診率・実施率共に前年度並の見込					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)			
	事業費	20,641 千円	事業費	20,641 千円		
	特定健康診査、特定保健指導の実施 特定健診未受診者勧奨事業 二次健康診査 特定保健指導対象外の方への保健指導		特定健康診査、特定保健指導の実施 特定健診未受診者勧奨事業 二次健康診査 特定保健指導対象外の方への保健指導			

まちづくりの基本方針	3	笑顔いきいき、やさしいまちづくり		
施策の方向	(6)	健康づくり	該当ページ	P60
基本方針	「自らの健康は自ら守る」を基本として、健康に関する住民の意識高揚を図り、乳児期から老年期までの各時期の健康課題及び生活様式に応じた健康づくりを進めます。			
施策の体系	保健指導の充実と健康保持のための正しい知識普及、健康診断やがん検診等の受診促進			

○実施計画事業

事業No.	5	ヘルスアップ事業			事業課	健康保険課
予算	事業名	特定健康診査等事業				
	科目	款	8保健事業費	項	2保健事業費	目
個別計画/条例	与那原町特定健康診査等実施計画（第2期）、データヘルス計画、健康よなばる21			目標年次等	H31	
事業期間	平成29年度～平成30年度					
事業目標	特定健診を継続して受診させる 受診勧奨判定値の者の医療機関受診、治療の継続 糖尿病性腎症重症化の予防					
事業対象	40～74歳の国民健康保険被保険者で健診結果等により対象となる者					
目標値	特定健診リピーター率	H29年度		74%		
		H30年度		76%		
現状値	特定健診リピーター率：72.2%（H28年度）					
年度別事業内容	1年次(平成29年度)		2年次(平成30年度)		/	
	事業費 6,727 千円		事業費 6,727 千円			
	<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診者のフォローアップ（受診勧奨判定値を超えている者への対応） ・特定健診継続受診対策 ・早期介入保健指導事業（20～39歳健診） ・糖尿病性腎症重症化予防 		<ul style="list-style-type: none"> ・特定健診受診者のフォローアップ（受診勧奨判定値を超えている者への対応） ・特定健診継続受診対策 ・早期介入保健指導事業（20～39歳健診） ・糖尿病性腎症重症化予防 			